



# 寿光園だより

第 0065 号  
平成29年11月 発行  
制作: 寿光園広報担当  
<http://www.jyukouen.or.jp/>

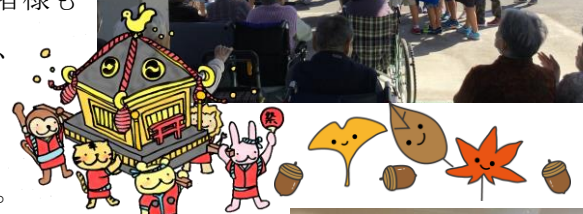


花火も秋の風にたなびく。

## 寿光園 夕涼み会

## 豊作だ、お神輿わっしょい!!

10月の日曜日、寿光園の正面玄関の方向より元気な子供達の声が響いてきました。「わっしょい! わっしょい!」と半被を着た子供達が御神輿を担いでやってきたのです。思わず一緒に利用者様も掛け声を発したりしながら、その嬉しそうな横顔はまるで子供の頃のように笑顔で満ち溢れていました。



9月8日の夕方、正面玄関前の広場に職員総出で椅子を並べて、夕食を終えられた利用者様方をゆっくりと案内して集合していただきました。夏も終わり、秋を思わせる涼しい風が吹いており、施設裏側の山からはヒグラシの鳴き声も響いていました。ちゃんと防火用のバケツに水を入れたら準備は万端です。黒河内園長の挨拶が終わったのち、各々に手持ち花火を持ってもらい夕涼み会の開始です。花火が終わるころには、広場中央にて小さな打ち上げ花火がヒューと上がり夕空を彩りました。ありふれた家庭用花火ですが、どれもお子様やお孫様とバケツを囲んで火を灯した記憶を思い出すものばかりではないでしょうか。また来年も花火を囲んで笑顔で観ましょう。



## デイサービス夏祭りとお子太鼓

8月にデイサービスにて夏祭りを開催しました。普段と違う食事メニューにお祭りらしいイベントをいくつか用意させていただきました。子供太鼓にスイカ割りです。軽やかな、しかし力強い太鼓の鳴り音に、利用者様も自然とウキウキはじめて、思わず一緒に太鼓を叩いたり、一緒に輪になって踊ったり、本当に楽しそうでした。何より太鼓で来て下さった子供達がお孫様のように見えたのでしよう。寿光園デイサービスでは季節ごとに様々なイベントを開催しています。見学や体験利用も随時受け付けていますので、いつでもお気軽に御問い合わせください。



## 【 秋季を迎えて ~人のふい見て、わがふい直せ~ 】

平素、当法人に対して賜ります皆様からのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。大型台風といわれた21号も当地域を避けて通過してくれたので、ホッと一安心です。最近、新聞報道で企業の社長が『再発を防いで、生産を再開し、信頼を取り戻します。』の見出し、一流企業において繰り返される不正事件に歯止めがかからない。K製鋼、N自動車に対する評価である。両者における品質に対する意識の低下、企業統治が有効的に機能していない。事は単発的な発生でないところに根の深さを感じてしまう。組織ぐるみ、そこで働くたちのモラルの低下が背景にあり、それらが相俟って企業気質の自浄作用の劣化がかかる事態を引き起こしたといえる。ふと、私たちも自分が身を置く老人介護福祉社会に目を向けて振り返り、『大丈夫だろうか』とってしまった。老人介護福祉施設もその透明化をいかに図っていくべきかというとき、周りの人から閉鎖的でよく分からないといわれている。それだけ、私たち自身が『悪を看過しない』覚悟で利用者様を中心にした生活支援に努め、利用者に喜ばれ、地域からも安心して任せられるという風土づくりをしていかなければならないと肝に銘じた。

さて、この季節を迎えると私達はインフルエンザやノロウイルス対策について向き合うことになります。施設では毎年新しい職員が入職する為、職員一人一人が万が一発生に遭遇しても落ち着いて患者の吐物等の衛生的処理に臨めるよう演習に取り組んでいます。もちろん感染予防の基本である手洗い・手指の消毒の励行やマスクの着用はいうまでもありませんし、インフルエンザ予防接種についても職員、利用者の方々(希望者)に受けていただきます。また、10月~流行シーズンの終わる来年5月頃まで、施設における面会制限も行ってまいります。そのため、ご家族の方々には種々ご迷惑とご不便をおかけすることになりますが、どうぞ感染予防対策の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りたく存じます。

皆様のご支援を頂き、このシーズンも無事故で過ごすことができるよう職員一同勤めて参りますと決意を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



# 『2025年問題』というのをご存知ですか？

- 基本的ケアの細やかな実践（食事や口腔衛生・入浴や排泄など清潔保持）
- 孤独感を感じさせない声かけ（スキンシップやタッチングケアも意識的に行う）
- 快適な居室環境（家族交流を考えた静けさと適度な賑わい、室温や湿度の管理）
- 御家族様への説明（看護師や介護員、相談員からの状況説明）
- 利用者様への精神的ケアの見直し（御本人様の気持ちの揺らぎも確認する）
- 巡視体制の強化（喀痰吸引・バイタルや反射機能のチェック・皮膚の観察）
- 体制づくりの強化（利用者・家族様への支援に加え、介護職員のみでの夜勤における負担を軽減するための看護師の医療オンコール体制の確認）

看取りとなった利用者様へはこのようなプランにてケアを実施していますが、御家族様におかれましては不安や不満、相談していただかなければならない事もあります。看取りを望まめども経管栄養やポート造設など延命策についての説明など、看取りを含めて施設全体で連携に努めて支援をしていきたいと思っております。

- ・延命を希望されるのも御家族様の判断であり、
- ・自然での看取りを希望されるのも御家族様の判断です。



いわゆる「団塊世代」の約800万人が75歳以上に達するのが2025年であり、国民の5人に1人が75歳以上という前代未聞の超高齢化社会を迎えようとしています。厚生労働省の予測では要介護高齢者は700万人以上、認知症も470万人に上ると推測されています。その頃には病気や老衰による死亡者数も年間160万人を超えと言われて医療機関はパンク状態となり「終末期難民」という言葉さえ囁かれています。

現在当施設において入居者様は定員80名となっており、その平均年齢は90歳でありその6割が認知症を発症しております。また完全な寝たきりで経管栄養や24時間点滴対応の方が1割を占めています。開設当初と比べてやはり当施設においても超高齢化は着実に進んでいます。入所時に身元引受人の皆様への確認事項として「経口摂取困難や急変時」の対応について伺わせていただいておりますが、食事を食べる機能が低下し、気管や肺に唾液や食物が入り込んでしまい、それが原因で誤嚥性肺炎となり何度も入退院を繰り返す利用者様の比率も多くなっています。2025年に向けて高齢者が増えてきており、日本人の死亡原因ワースト3位に肺炎が含まれるようになったのもこのような背景があるのかもしれない。

急変時にどのような最期を迎えさせたいか、また身体機能の大幅な低下があった際、どのようなケアをしたいのか。経管栄養や24時間点滴、または何もしない等の選択肢も含めて、当施設では御家族様と話し合いの場を今後も一層持ちたいと思っております。



## 七夕飾りで記念撮影

7月7日と言えば七夕です。思い思いの願い事を利用者様それぞれにて短冊に書いてもらい、色々な飾り物と一緒に吊るして、廊下に設置した竹に飾らせていただきました。



## 笑顔の敬老会

9月27日、暦の敬老の日からは少し遅れましたが、当施設においても今年度の敬老会を開催させていただきました。黒河内園長の挨拶を筆頭に、利用者様代表の挨拶が続ぎ、その後家族代表様の挨拶を終え、長寿を祝しての記念品と花束の贈呈をさせていただきました。花束を受けとっていただいた瞬間の笑顔がまた印象的でした。その後、踊りと歌の催しもはじまり、楽しい時間は正午間際まで続きました。また来年も笑顔で敬老の日を迎えましょう。来年も皆様が健康で暮らせるように、私達職員一同でしっかりとお手伝いさせていただきます。



## 窓際でのお月見

秋と言えば十五夜のお月見。利用者様達にも季節を感じていただきたくて、施設内の複数箇所にもススキとお団子の飾り付けをしました。今年は天気も恵まれて、見事な月を窓際で拝むことができました。



## 小学生の施設見学



9月19日から21日かけて、町立善郷小学校の皆様が見学に訪れてくださいました。特別養護老人ホームとはどのような場所なのかを実際に見ながらの説明させていただきました。最後はこんな大きな壁飾りをくださり、本当にありがとうございました。



だんごもかわいい！

## 面会制限のお知らせ

10月より施設内感染症対策の一環として面会場所の制限を行っています。同時に、風邪等の体調不良を伴った面会者様のお断りの御協力もよろしくお願い申し上げます。インフルエンザ等の流行具合により制限解除の時期は前後しますので、事前のお問い合わせをしてくださるようお願いいたします。



## 来園してくださったボランティアの皆様(7月~9月)

- 矢吹芸能奉仕団の皆様 (カラオケ)
- しらうめ荘の皆様 (施設清掃)
- 矢吹日赤奉仕団の皆様 (施設清掃)
- 大信日赤奉仕団の皆様 (施設清掃)



ご多忙のなか、本当にありがとうございました！！

担当者よりご家族様へ

入所者名： 様  
担当職員：